

# 自己紹介



2004年アテネ/2008北京オリンピック大会  
フェンシング競技女子エペ代表

池田めぐみ（旧姓：原田）  
中学までは陸上競技、高校からフェンシング

山形県南陽市在住  
山形県立米沢興譲館高等学校  
東京女子体育大学/筑波大学大学院

## 主な活動

名称	役職	内容
山形県スポーツ協会	スポーツ指導員	スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、部活動、学校PTA等への研修会実施
山形県タレント発掘事業（通称：ドリームキッズ）	アドバイザー	トップアスリートの発掘・育成事業（2009年～）
山形大学	非常勤講師	スポーツ実技担当
日本アンチ・ドーピング機構	アスリート委員 評議員	アンチ・ドーピング関連の研修会、国際大会検査員やスポーツファーマシスト養成講座への協力
日本スポーツファネス推進機構	理事	日本のアンチ・ドーピング体制の整備を推進
嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センター	理事	国内外のオリンピック・ムーブメントを推進し、発展させていく活動
日本サッカー協会 JFAこころのプロジェクト	夢先生	夢や目標を持つことの素晴らしさを伝えていく活動

<その他>

第六次山形県教育振興計画（後期）検討委員会\_委員/山形県教育懇話会\_メンバー

# 論点（モノ・ヒト・カネ＋α）と課題意識

## ①活動場所の確保

- 学校施設の目的外利用の推進
- 上記を支える安心・安全徹底 等

### <課題意識>

- スポーツの活動単位が、学校や少年団、クラブ等「所属」が細分化されており、その垣根が、スポーツをする機会の効率化と最大化を阻んでいる
- やりたいスポーツと、できるスポーツの一致が困難な場合が多い
- 障がい者がスポーツをする場所と機会が限られている
- 地方・田舎の交通手段は「車」であり、小・中・高生は休日など保護者による「送迎」に対する課題を抱える関係者は多い
- 雪国では冬季間、屋外施設が閉鎖されることが多く、屋内施設が取り合いとなる

## ②指導者の確保/質の担保

- 指導者の質に必要な資質とは
- ライセンス制度の整理・新設
- ライセンスに紐づいた雇用・報酬体系の整理 等

### <課題意識>

- 指導者の質的評価をすることは難しいが、エビデンスに基づいた第三者による指導者の資質や指導内容の評価が必要になってくる
- 報酬を受け取る指導者や事業者と「契約書」を交わし、ジョブディスクリプション、役割と責任を明確化する必要がある
- 指導者＝経営者とするのか？指導以外に必要な時間と手間に対する報酬の検討
- 子育て世代の女性指導者の課題について検討する必要がある

(出所) 日本アンチ・ドーピング機構 “PLAYTRUE2020”  
<https://playtrue2020-sp4t.jp/jp/static/report20151001/>



# 論点（モノ・ヒト・カネ＋α）と課題意識

## ③運営資金の確保/エコシステム構築

- 公的財源の確保
- 民間企業の参画促進 等

### <課題意識>

- 事業運営能力を高度化する必要がある
- 経理関係を一括してIT化する等、指導者や経営者の作業効率を向上させるサポートや技術が必要
- toto（スポーツくじ）の対象スポーツの拡大
- 豪雪地帯等、施設の暖房費や除雪に係る費用負担への補助

## +α 論点

- 学校教育における「体育」
- 中体連・高体連のあり方
- スポーツをする側の権利

### <課題意識>

- 正しい姿勢、歩き方、走り方等、スポーツをするため、健康で生きていくために必要な、基本的な体の構造や機能を知る教育が不足している
- 学校の体育によって「運動嫌い」が生まれている可能性がある？
- 中体連や高体連など、学校対抗を軸としたスポーツ活動の課題を明確にしていく必要がある
- IOCの「アスリート憲章」やWADAの「Athlete' Anti-Doping Rights Act」等、アスリートが権利を主張し始めてきている